



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida



イマジン ローター

RI会長 ジェニファー E.ジョーンズ

第2570地区ガバナー 村田 貴紀

第3グループ
ガバナー補佐 白井 威

地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう！

第3050例会 2023. 2. 1

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 59-31)

会長 矢島高明 幹事 市川 昭

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中山君、中川君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 ☎357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 矢島高明会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 大嶋職業奉仕委員
- ・卓話 中里明宏様 清水事務局長様



【入会式】

◎新入会員紹介 市川君
志岐祐二(しきゆうじ)会員 1952年、福岡県柳川市生まれ。大阪工業大学建築学科卒。(株)アーツコンサルタント代表取締役会長。会社は目白で、建築事務所、積算業務、マンションのコンサルティング等をされています。一級建築士。趣味はゴルフ。飯能まつりに同じ町内で参加し、RCの話が出て入会となりました。



◎志岐会員挨拶
柳川の県立伝習館高校という古い学校を出ました。大阪、東京と来て、飯能へは32年程前に中山スカイハイツに入居、子ども達も一小、西中に通いました。縁があって16年前から仲町に住んでいます。70を機に飯能の皆様の事をよく知りたいと思い、いろいろ皆様から教えて頂きながらやっていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

◎矢島会長よりバッジ装着/歓迎の言葉/誓いの言葉/額・四つのテスト・バナー贈呈/土屋RC情報委員長より資料贈呈/市川幹事より会員証贈呈・所属発表「米山記念奨学」 ◎乾杯: 島田パスト会長

【会長報告】

新型コロナは5/8「2類相当」から「5類」に引き下げるとの政府方針です。RCとしてもさまざま対策をして参りましたが3/1にパネルを撤去する事で理事会決定されました。会話時はマスク着用を徹底し、再拡大の際はパネルの再使用もあります。

『友』紹介は3月例会でまとめてご報告致します。本日の講師は中里(昌)パスト会長のご長男です。ロータリアンは結構多くの方がゴルフを趣味にさ

れています。志岐さんもどうぞ積極的にゴルフに参加して頂きたいと思ひます。

【幹事報告】

第9回理事会: 前回議事録確認。4月のプログラム、中間決算、合同夜間例会、ゴルフコンペ承認。パネル撤去決議。ウクライナ復興支援金は昨年度同様で承認。第10回理事会の案内、3月のプログラムを配付。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・3/21(火) 例会取止め(法定休日)
- ・3/28(火) 花見例会に振替(予定)

◎馬場会長エレクトの報告

高丹次年度ガバナーエレクトより4名の役員出向依頼が来ています。大崎、小川、前島、都築会員、お忙しいところ恐縮ですがよろしくお願ひします。電話での依頼があった場合には事務局にお伝え下さい。

【出席報告】無届欠席3 中里(忠)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
71名	5名	56名	78.87%

【M U】 1/30 (新狭山) 小川君

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 坂本(淳)君
親睦旅行アンケートは本日提出締切です。

【結婚・誕生日祝】

坂本(淳)親睦活動委員長
◇入会記念日おめでとう 大附君、馬場君、矢島(尚)君、大野(康)君、細田(尚)君、川口君
◇結婚記念日おめでとう 大野(正)君(両親)、市川君、永安寺君、大嶋君、大木君、佐々木君、森君、原島君
◇会員誕生日おめでとう 細田(尚)君、増島君、本間君、細田(伴)君、五十嵐君、加藤君、矢島(尚)君、大嶋君
◇夫人誕生日おめでとう 木川(-)夫人、佐々木夫人、中川様(夫君)、福島夫人、鳥居夫人、細田(尚)夫人、川口夫人、小川夫人

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・中里明宏様、清水事務局長様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。矢島(嗣)君、伊澤君、新井君、吉島君、山川君、大附君、矢島(尚)君、沢辺君、高橋君、田辺君、神田(敏)君、細田(伴)君、福島君
- ・妻の誕生日お祝ひ有難うございます。木川(一)君、細田(尚)君、小川君、福島君
- ・誕生日お祝ひ有難うございます。細田(伴)君、加藤君、矢島(尚)君、大嶋君、細田(吉)君
- ・志岐様ご入会おめでとうございます。山川君、矢島(嗣)君、前島君
- ・夫の誕生日お祝ひ有難うございます。中川君
- ・入会記念日お祝ひ有難うございます。大附君、馬場君、大野(康)君、矢島(尚)君、細田(吉)君
- ・結婚記念日お祝ひ有難うございます。森君、原島君、大嶋君、大木君
- ・今後もよろしくお願ひ致します。川口君
- ・早退します。大野(康)君

本日計 93,000 円、累計額 624,000 円。

◎1日例会当番は大附、小川会員です。

【卓 話】

講師紹介

伊澤国際奉仕委員長

S46年生まれ。中央大学理工学部卒。H6年、「(株)マルナカ」入社。R4年、社長に就任。H28年、「飯能市国際交流協会」入会。副会長を経てH30年、会長。20代にイタリア・トスカーナ地方に仕事で滞在、経営者ご家族にお世話になった経験をお持ちです。趣味はゴルフ、庭木の手入れ。好きな食べ物はお蕎麦と麵の事です。

世界はひとつ 飯能からつながる友好の輪

～飯能市国際交流協会の活動内容紹介～

飯能市国際交流協会 会長 中里明宏様

飯能RC様には賛助会員として毎年ご支援を賜りまた会長様には理事としてご尽力を頂き誠に有難うございます。お蔭様で大変良い活動が出来ているのではないかと感じております。はじめに清水より活動内容をスライドでご紹介します。国際化に対応していく上で何かのヒントになれば幸いと存じます。



清水事務局長様 協会設立は1995年再来年30周年となります。市民主体で進める国際交流・国際協力活動の拠点として世界の人々との相互理解友好親善を図る事を目的に活動。05年、米国ブレア市との交流をさらに推進するため、以前からあった「姉妹都市交流委員会」を協会に編入。19年委員会組織として「飯能市フィンランド協会」を設置。

1/1 現在、飯能市総人口78,445人、外国人1,220人(1.5%)。中国、ペルー、フィリピン等。1/31現在、団体を含む協会会員数186人、うち外国人47人(25%)。

■日本語支援事業 日本語教室は年70回以上開催。レベルに応じてグループで活動。語学ボランティアが熱心に指導しています。日本の文化や生活も知って頂くために七夕には短冊に日本語で願ひ事を書いたり、路線バスの乗り方や年賀状、お花見等、ボランティアの方がいろいろと考えて取り組んでいます。

■スピーチ発表会 成果発表の場として一番大きな事業。9回目の今年度はベトナム、エチオピア、米国、フィリピン、中国、豪州から12人がスピーチ。今回は飯能RC国際奉仕委員会様から各スピーカーに記念品を頂戴しました。有難うございました。

■多文化交流事業 外国人に日本の文化や生活を体験して頂く事業と、日本人に外国の文化等を体験して頂く事業の、双方向の事業に取り組んでいます。お茶会で振袖や袴の着付け、ハロウィーン、未就学児対象の「英語で遊びましょう」、書道、等。

■姉妹都市交流事業 ブレア市とは1981年から40年以上の交流があり、訪問団に日本の文化を体験して頂く事業等行っています。一週間以上滞在するため市担当課と協力し、駿河台大学等多くの方々の協力を得ながら実施。飯能市からの市民訪問団もブレアの姉妹都市交流委員会の皆様から毎回心温まる歓迎をして頂いております。コロナ禍で人的交流は途絶



えていますが、昨年度はブレア市長と姉妹都市交流委員会、飯能市も新井市長、中里会長とオンライン交流が出来ました。姉妹都市提携40周年を記念してブレア市から贈られたタペストリーは市民活動センターに飾られています。

■飯能市フィンランド協会

市からの要請で2019年、内部委員会として設置されました。当時の駐日フィンランド大使ペッカ・オルパナ氏が(株)マルナカを訪問。大使館レセプションには飯能市フィンランド協会の和泉会長が出席。オルパナ氏は名誉会長でもありました。コロナ禍で人的交流は出来ませんがフィンランドを知る・身近に感じる事業を積極的に実施。「モルック」の普及、「飯能モルッククラブ」創設。伝統的楽器「カンテレ」演奏会も2年続けて開催。冬至に飾る「ヒンメリ」ワークショップ、フィンランドに関する講演会、市民活動センターのクリスマス展示、等。

中里様 1998年、イタリアで見習いの仕事をさせて頂く機会を得ました。イタリアから日本に売り込みに来ていた同業の後継者と仲良くなり、打ち解けたところで「今度欧州に行こうと思うのですが、あなたの会社で手伝いをさせてもらえないか」と話したところ快く受け入れてもらえたのです。大変ラッキーだったのですが、一、二日で帰されても仕方がないというつもりで居りました。ところがいい意味で裏切られ「居ただけ居ればよい」と言われ、ホテル住まいだったので、昼夜一緒に、毎晩のように食事を作って頂きました。私に出来る事と言えば一生懸命仕事をする事と、掃除は頑張ろうと思っでやっていると、彼の姉(専務)から「アキ、何してるの」と咎められました。大切な日本からのお客様という扱いだったわけです。イタリアに行く前、フランスやドイツ等も回ったのですが、欧州の人と関わる中で一寸感じていた事があったのです。“つっけんどん”冷たいわけではないが日本ほど親切ではない、という感じでした。ある時、電車に乗ろうとして駅員に「この電車で大丈夫か」と尋ねたところ、駅員は何も喋らず手で方向を示すだけ。私は寂しい気持ちになり、私の英語が通じなかったのかなと悔しい思いもあり、駅員の顔を覚えておこうと乗る時に振り返ったのです。するとその駅員は私の事をずっと見続けていて間違っただけに行かないように見守ってくれた、という事がありました。言葉は通じないのですが分かるんですね。そんな経験をして、あの人は親切でもなさそうだけど、実はちゃんと私の意思を汲み取ってくれているんだと何となく感じたんです。毎日夢中でそういう事を考える余裕は無かったのですが、帰って来て、出会った方一人ひとりの顔を思い浮かべますと、私は余所者ですけど、余所者扱いはしなかったなというふうに感じたわけなのです。

飯能にも外国人の方はたくさん居ます。皆さん本当に一生懸命頑張って日本語を勉強しています。会長として、そんな方達の力になれればな、という思いであります。私もして頂いたように、出来る事はしてあげたい。そんな気持ちで関わりを続けさせて頂いております。市民の皆さん、新たに市民となった外国人の皆さんには、飯能が「本当にいいところだな」「好きだな」というようになって頂きたい、第二の故郷として飯能の事を覚えていて頂きたい。そんなふうと感じながら毎日活動させて頂いております。ブレア市との姉妹都市提携の時に立ち上がった「姉妹都市交流委員会」の時代から数えると40年余りの長い歴史をもつ「飯能市国際交流協会」です。先輩方が築き上げられた歴史を、責任と自覚をもって未来へ繋いで参りたいと思います。皆様よりご指導ご鞭撻を頂きながら、良い運動が出来るように活動を続けて参りますので、今後とも是非よろしくお願ひ申し上げます。